



茨木市立東中学校 生徒指導推進委員会  
 生徒指導通信6号 令和2年6月16日  
 文責：生徒指導主事 森山 聡

根気よく、主体的に学ぼう ～自分も周囲の人も大切にしよう～ 自分と向き合い、進路を切り開こう

## ～通常登校スタート～

コロナ感染症による休校、見守り登校、分散登校を経て、3ヶ月振りに通常登校が始まりました。1年生は入学式を行い、改めて中学校生活がスタートしました。

異例の流れではありますが、少しずつリズムを作っていきましょう。

もちろん『新しい生活様式』

については、引き続き気を付けていかなければなりません。

- ①身体的距離（ソーシャルディスタンス）の確保
- ②マスク着用（運動時は除く）
- ③手洗い など・・・

暑くなりマスクが邪魔になったり、友達との距離感が近くなったり、手洗いが面倒になったりする事もあると思いますが、見えない敵はいつ、どこで悪さしてくるか分かりません。一緒に気を付けながら頑張っていきましょう。



ところで、休校期間中にこんなことがありました。

いつも決まった時間、決まった場所で、1人で必死にトレーニングをしている中学生か高校生くらいの男子がいました。その様子をいつも見ていて、「絶対に強くなるな」と思っていました。休校が明けると、話しかけてみました。彼は見られていた事の驚きと、そして高校生活での「目標」を話してくれました。

そのために『この状況で出来る事を自分で考え、メニューも作り頑張っていた』と。

みなさんどうですか？

今まで授業や部活の活動の中で、すべて先生が考えて与えられたことだけこなしていませんでしたか？ 学力、体力の真の力は、自らが求め、考え・・・そして行動した時についてきます。

休校期間中でも、学習面や体力面において自ら努力していたという話も聞いています。

**皆さんの日々の頑張りを期待しています！一緒に頑張っていこう！**

## ～大阪北部地震から2年～

2018年6月18日7時58分39秒。

記憶に新しい人も多くいると思いますが、大きな揺れとともに悲鳴と恐怖を感じた事と思います。この時間、中学生は通学、部活、今から家を出ようとしていたり、もう教室にいたり様々な活動中でした。

東中でもグラウンドへ緊急避難し、それぞれの安否確認、そして地区別に集団下校という動きをとりました。そして、その日から学校も避難所となりました。

その教訓も含め、防災について学校でも今まで以上に取り組む必要性を感じさせられました。6月にも避難訓練が開催されます。

## 避難訓練【地震に伴う火災を想定】6月19日(金)実施 気を付けよう(お・は・し・も)

- ㊦ おさない
- ㊧ はしらない
- ㊨ しゃべらない
- ㊩ もどらない

これに気をつけ、なおかつ真剣に・本気で 取り組もう！

## どれだけ知ってる？防災〇×クイズ

- Q1：大地震に備えて最低3日分の非常食を用意しておくことが望ましい
- Q2：1人あたりの必要な飲料水の備蓄は、1日1リットルである
- Q3：断水でトイレの水を流せなくなった。トイレに行けないので飲食を我慢する
- Q4：水や食料などが入っている非常用袋は台所においておく